

BatSound リアルタイムスペクトログラム録音の進め方

超音波の録音には2種の方法があります。

(1) タイムエキスパンション (TE) : TE 機能付のバットディテクターを使用する。(D240X、D1000X)

通常機能のパソコンで TE で再生した超音波を 1/10 速でリアルタイムスペクトログラム録音します。

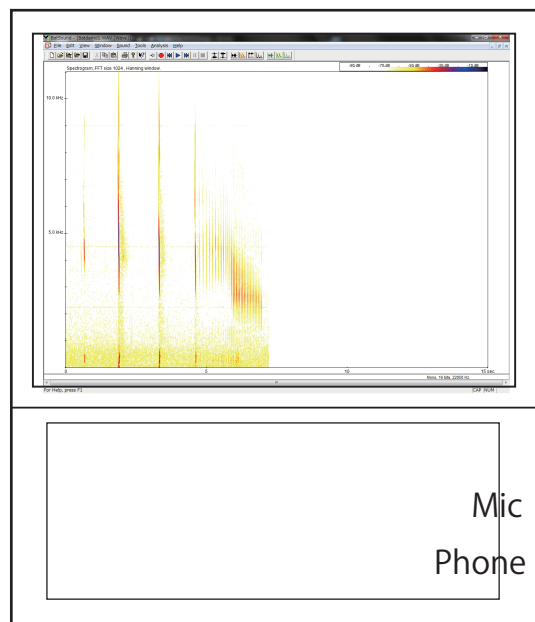
(2) 高速録音 : 高速なサウンド特性を持ったパソコンとバットディテクターを使用する。

この場合には、リアルタイムでスペクトログラムを表示しながら高速録音ができます。

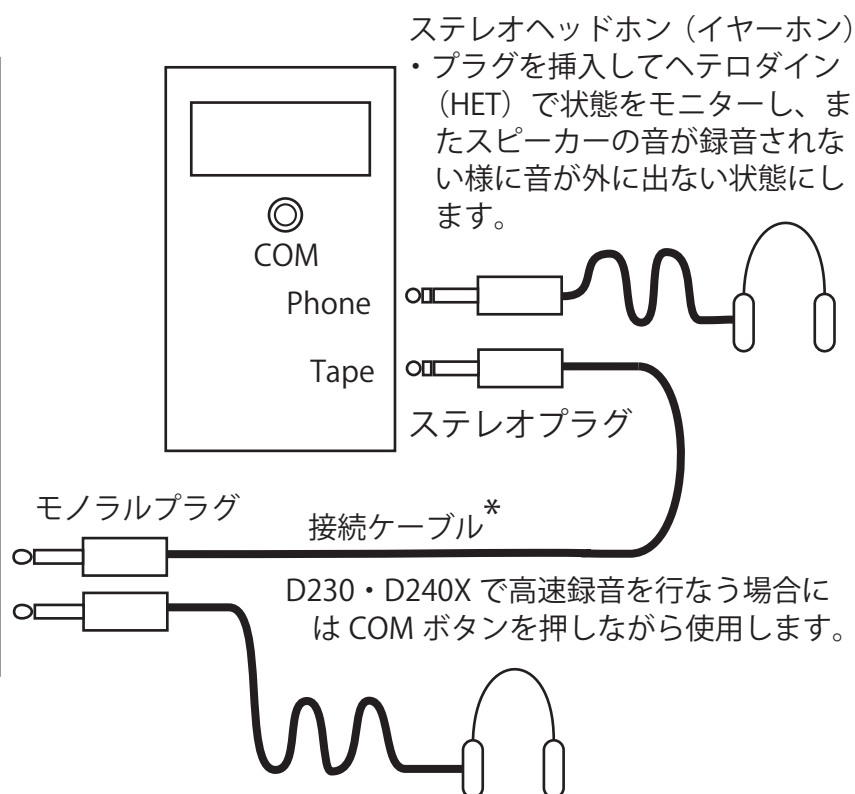
(D100、D200、D230、D240X、D1000X)

パソコンのサウンド特性が 192KHz であれば、96KHz 迄の超音波が解析可能です。

パソコン
(BatSound インストール)



バットディテクター



パソコンの設定

- ・サウンド設定 (下記参照)
- ・録音はモノラルで使用します。
- ・マイク音量を設定します。
- ・ヘッドホンを挿入して、スピーカから音が出ないようにします。

BatSound の設定

- ・サウンドフォーマットでモノラル、サンプリング周波数を設定します。

録音を開始するには、ツールバーの●ボタンを押します。画面にスペクトログラムが表示され、データはメモリーに蓄積されます。■を押すと記録が終了します。必要によりデータを保存してください。

* 注) 接続ケーブルは、ステレオプラグのリングとモノラルプラグのチップを接続します。当社でも準備しています。

録音器で録音するには！

- ・パソコンをの代りに録音器を使用して記録して、その結果をパソコンで読み込むことも出来ます。
- ・この場合、録音器は PCM レコーダーを使用し、結果を wav フォーマットで記録する事をお勧めします。